

研究課題番号	1MF-2201
研究課題名	廃棄建材表面の石綿の可視化による迅速検出・画像解析法の開発と災害現場実証
研究実施期間	令和4年度～令和6年度
研究機関名	佐賀大学
研究代表者名	田端 正明

1. 委員の指摘及び提言概要

災害現場などで迅速に判定できる新たな石綿検出法適用を目指した研究が精力的に進められており高く評価できる。標準分析方法として確立されるかどうかを判断するための科学的知見の発出が必須で、検出原理や定量性などについて原著論文による学術分野での認知を進める必要がある。その観点から、石綿の種類による色素吸着の感度差、誤判定要因となる粘土鉱物などの吸着選択性についての鉱物化学的解析、石綿含有建材にはさまざまな形状があり提案手法の適用可能性についての形状別精査、染色繊維数からアスベスト含有%を推定するための解析手法の工夫など、さらなる検討が望まれる。今後、なるべく早く社会実装までもっていけるようなスピード感で成果を生み出すことを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A